

北区王子から流れ来る音無川は三ノ輪橋（日光街道と常磐線ガード前）で山谷堀と思川（明治通り）と小塚原用水に分かれますが、こじきガードをくぐると土手沿いに流れる一本がJR南千住駅前を通っています。三ノ輪橋のたもとには大福餅を売る大きな店がありました。こじきカードまでの道は浄閑寺の墓地が丸見えする暗くて気味の悪い道でした。戦後の一時期には浄閑寺の角に、たぬきやいのしし等の野獣を店頭にぶら下げて売る「ももんじ屋」ができましたが、長くは続かず程なく閉店しました。

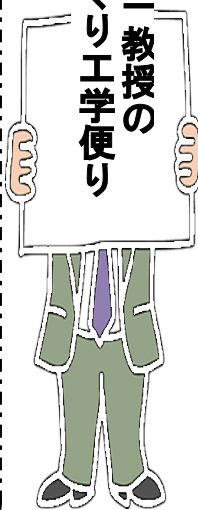
☆六郎が語る☆  
南千住一口話  
第215回

こじきカードをくぐり南千住駅に向かって流れる細い川の近く（今の尾花さんの手前あたり）に金魚の養殖池がありました。大雨が降ると川に逃げ出した金魚を子どもたちが楽しんで捕まえていました。また、大雨で南千住駅前は大変でした。杖や棒、竿を持ってマンホールの穴に落ちないように注意しながら道路を歩きました。今は出水して困ることは無くなり住みよい町になりました。

明治三十三年の大洪水で首まで浸かったお地蔵様がコッ通り回向院の隣りの延命寺にあります。明治二十八年、お地蔵様は常磐線が出来る時に線路南側にあった法華庵と呼ばれた寺から移転しました。散歩がてらに来てみてください。色々、目まぐるしく変わっていきます。書き残すことが大切だと思っています。これからもよろしくお願致します。

コッ通り杉山六郎

吉田喜一教授の  
ものづくり工学便り



荒川区の産業

都立産技高専名誉教授 吉田喜一

荒川区域はかつて江戸・東京の近郊農村でした。汐入大根、荒木田大根、三河島菜、谷中生姜などの産地でした。そして、明治政府の殖産興業政策で大中小の工場ができました。

荒川区には各種産業が集積しました。紡績、羊毛、電力、造船、ガス、製紙、ボール紙も、材木、家具、自転車、皮革製品、豚油、鉛筆等の生産です。

荒川区特に南千住は、日本の産業革命発祥の地という方もおられます。これら荒川区に残った産業遺産の、見学を兼ねた散歩を秋に計画するつもりです。間近かになつたらアナウンスしますので、ご参加できる方はこのミニコミをご覧ください。



庄内・クラゲの加茂水族館 夏の日帰り旅

こんにちは、メガネのサトウ4代目です。8月1日（木）、前々から予約していた航空券を利用して、庄内地方の日帰り旅をしてみました。

【往路】全日空 NH393便 羽田空港6:55発 庄内空港7:55着 運賃など...5,815円 (ANA海外サイト購入) 【復路】ジェットスター GK776便 庄内空港14:50発 成田空港15:55着 運賃など...1,844円 (就航記念特別運賃)

往路は、久しぶりに羽田空港から出発です。離陸してからの東京の俯瞰を楽しみ、機内サービスのコーヒを飲んでいるうちに、眼下には猪苗代湖が見えてきました。それから雪の残る月山を横目にし、日本海上空を旋回してあつという間に庄内空港に到着です。

空港からはレンタカーにて、海沿いの道を快適なドライブで、鶴岡市立加茂水族館に向かいました。かつては老朽化と集客難で閉館の危機に直面していたそうですが、館長の手腕によってクラゲの水族館として再生し、今や人気観光スポットになったのは有名な話です。夏休みとあつて、親子連れを中心に大変賑わっていました。神秘的なクラゲの姿や、アザラシのショー、ウミネコの飛来などをたっぷり楽しんで、レストランで昼食のクラゲラーメンを味わってから後にしました。

復路の成田行きジェットスターは、この日から運航開始の折り返し初便です。就航祝いで大勢の人が集まり華やいた雰囲気の中、成田から到着した初便の機体は、待機していた消防車による放水のアーチをくぐって歓迎を受けていました。成田へ出発する旅客にも、就航記念グッズが配布され、思い出に残る帰路のフライトになりました。



メガネのサトウ www.megane-sato.com 南千住5の43の13【東京新聞並び】 TEL03(3806)4930

★休業日のご案内★(原則、火曜定休です) 8〜9月:毎週火曜日は休業日です。

★営業時間のご案内★

平日(月〜金):AM9時〜PM6時30分

土休日:AM10時〜PM5時

8月31日まで「HOT! SUMMER SALE」開催中です。お知らせ、各種ご案内などは当店公式ホームページをご覧ください。検索は「南千住 メガネのサトウ」でどうぞ。

消費生活  
アドバイザー  
佐藤祐一郎